

広島市立広島市民病院医誌 第38巻 第1号 印刷仕様書①

区 分	内 容
1. 規 格	A4判
2・原稿交付方法	USBメモリ 渡し (Windows)
3. 紙 質	本冊 表紙(上質紙 135kg) 本文(上質紙 70kg)
4. 印刷種別	オフセット
5. 印刷方法	表紙(両面 2/1) 本文(両面 1/1, 4/4)
6. 刷り色	表紙は2色(セピア、クロ)(見本のとおり) 本文はクロ、一部カラー印刷
7. 図版	図 50 点 (うちカラー 26 点)
8. 作成数量	本冊300 冊(1冊本文約150頁 約75枚)
9. 製本	無線とじ(見本のとおり)
10. 校正	3回(うち色校正1回) (校正は図書室担当者が受け取り後平日の中2日を必要とする)
11. 原稿	図書室にて受け渡し。見本は図書室及び本部契約課にあり
12. 校正場所	広島市民病院 図書室 221-2291 内線2700
13. 納期	平成34年3月31日
14. 納入場所	広島市民病院図書室
15. その他	<p>※論文の構成については第37巻1号に準ず</p> <p>頁の割り振り写真及び図表などの振り分けを行い、図書室担当者の確認を得ること</p> <p>カラー写真については最小頁にとどめ協議する</p> <p>裏表紙に基本理念を掲載する</p> <p>レイアウトによる数ページの増減は含むこと</p> <p>受注者は、納品にあたって速やかに事務室用度担当へ連絡し、当院の指定する者の検査を受け、引き渡しを行うこと</p> <p>最終的に作成した版下等電子データ(AIデータ・EPSデータ等、ただしPDFは不可)は、地方独立行政法人広島市立病院機構に所有権が帰属するものとし、次回発注時の当初データとするためCD-R等の媒体に記憶させ提出(1枚)すること</p> <p>なお、検査の結果、不合格となった場合の取り換え等に要する費用は、受注者の負担とする</p>

広島市民病院医誌第38巻1号 仕様書②

	種別	所属	氏名	タイトル	予定 総枚数	本文 (枚)	図表 カラー (点)	図表 モノクロ (点)	
1	巻頭言	病院長	秀 道広		2	2			
2	図説	放射線診断科	飯田 慎	周産期の画像診断—癒着胎盤のMRI所見を中心に—	4	3	1	3	
3	序論	総合周産期	西村 裕		1	1	0	0	
4	特集	総合周産期	西村 裕	当院における小児期の未診断疾患症例に対するIRUD研究への参加と実績について	5	3	4	2	
5	特集	循環器小児科	中川 直美	危急的先天性心疾患における胎児診断の重要性	6	4	0	6	
6	特集	産科	上野 尚子	周産期領域におけるハイブリッド手術室の有用性	8	5	5	4	
7	特集	小児科	長岡 義晴	小児医療における慢性疾患診療の重要性が高まっている（現況報告と当院の目指す方向性）	4	3	0	1	
8	特集	小児外科	向井 亘	当院で過去20年間に発症した壊死性腸炎19例についての考察	6	4	6	0	
9	特集	総合周産期	前野 誓子	致死的な胆汁うっ滞を呈した後天性サイトメガロウイルス感染症の超低出生体重児の1例	6	5	2	0	
10	特集	総合周産期	三反田 史絵	当院における在胎35週で出生した児の検討	4	3	0	3	
11	特集	麻酔科	佐川 智紀	周産期に呼吸管理を要した新生児期舌根部嚢胞の症例	3	2	3	0	
12	特集	看護部	池田 薫	産科病棟での超緊急帝王切開運用～運用開始前から現在に至るまで～	4	3	2	1	
13	特集	薬剤部	島田 薫	子宮収縮抑制薬による副作用発現の違いについて—リトドリン点滴静注液の後発医薬品採用をうけて—	3	2	0	3	
14	一般	耳鼻咽喉科	井口 郁雄						
15	一般	放射線技術部	吉崎 透	広島市民病院における診療用放射線の安全管理に関する検討	6	5	3	1	
16	がんセンターボード				1	1	0	0	
17	抄録				7	7			
18	業績集				66	66			
19	編集後記				1	1			
20	その他			投稿規定・奥付	2	2			

※空欄を多く含む頁、図表のサイズなどもあるため編集後は150頁前後となる見込み

139

122

26

24

※14の原稿は2月上旬の提出の予定（3枚程度）